

昭和41年度
(1966)

残雪期鹿島槍ヶ岳周辺強化合宿

昭和41(1966)年4月29日～5月8日

当合宿は、伊那松本山岳部としては、鹿島槍ヶ岳、大冷沢周辺を、初めてほぼ全域にわたり、トレースした合宿であり、氷雪技術練磨以外に山域踏査を試みたユニークな合宿であった。

合宿を計画した初めの予定では、もっと多数の上級部員の参加があると思い、東尾根にアタックキャンプを出し、荒沢では南稜・北稜、カクネ里では主稜・ピークリッジを狙うつもりであったが、実際は全く出来ず、せめて大冷沢～荒沢～カクネ里の周遊コースを開拓したかったが、それも出来ず、荒沢周遊コースで満足せねばならなかったのは、極めて残念である。理由は何といても、上級部員の少なかったことと、天候が途中で崩れたことにあると思う。

実際の行動はほとんど大冷沢源流にて行われたが、大冷沢一帯の沢と雪稜は、中堅部員の練磨に最適と思われる。朝まだ明けやらぬうちに出発して長い時間、時としては12時間を越えて行動したことは、体力にもバランスにも大きな成果があったことと信じる。

雪上訓練は、コーチたる上級生が少なかったために、思うようにはいかなかった。雪上訓練に時間をかけるよりも、むしろ短時間に切り上げて、沢や雪稜をたどるほうに主力を置いた。アイゼンワークとかコンティニアスにもう少し時間がほしかった。

CL 新谷 剛

参加メンバー

CL 新谷 剛、出島五郎、岡村知彦、中村 洋、牧 晃一、内藤精二、木下盛弘、村田譲治、扇能 清、小林幹夫

行動概略

尾根、沢に番号がついているのは、概念図の中の番号であるので、比較して参照されたい。

4月29日 大糸線築場駅～黒沢峠～大谷原～大冷沢堰堤～西俣出合い～BC 設営

4月30日 7:00 出発、西沢で雪上訓練、その後、赤岩尾根⑪を辿り上部まで

5月1日 3:35 出発、

新谷、出島、牧、内藤、村田、小林、木下、扇能 北俣本谷左俣・右俣出合で雪上訓練。北峰寄りの吊り尾根から出ている小さな尾根を登る。下り

は東尾根②から、三ノ沢を下る。

岡村 中村

三ノ沢～東尾根②～鹿島槍ヶ岳～三ノ沢を下る。

5月2日 3:50 出発、

中村、村田、内藤、木下、出島

西沢で雪上訓練、冷尾根稜線へ、その後2パーティーに分かれる。

冷尾根稜線⑫～冷尾根⑫～爺ヶ岳北峰～西沢下降

岡村、扇能、小林

冷尾根稜線⑫～爺ヶ岳北稜⑬～爺ヶ岳北峰～西
沢下降
新谷、牧

三ノ沢～東尾根②～南俣のコル～南俣へ下降～
北俣の出合（荒沢尾根末端）～荒沢～大川沢～大
谷原出合～BC

5月3日 沈殿

5月4日 6:15 出発。昨日より新雪、状況悪し。
中村、扇能

ダイレクト尾根⑥、雪は不安定で、腰までのラッ
セル、視界効かず引返す。

牧、内藤、木下、村田、小林、出島

天狗尾根①に向うが天候悪化、下山を決意。

新谷、岡村

荒沢南稜、天候悪く断念。

5月5日 3:55 出発

新谷、中村、村田、内藤、木下

東尾根②・一ノ沢の頭

赤岩尾根本谷側ルンゼにて雪上訓練。一ノ沢・
二ノ沢間のルンゼより一ノ沢の頭を経て、東尾根
をトレースし北俣本谷を下降。

岡村、小林

東尾根②・二ノ沢の頭

赤岩尾根本谷側ルンゼにて雪上訓練。雪稜をの
ぼり二ノ沢の頭へ、荒沢は雪崩の交響楽。新谷パー
ティーのルートを通り下降。

出島、牧、扇能

第二岩峰南尾根⑤

赤岩尾根本谷側ルンゼにて雪上訓練。三ノ沢か
ら双子岩取り付き～第二岩峰下のコル～三ノ沢の
頭（山田、西郡、松尾OBと出会う）～三ノ沢～
本谷上部～BC

3:55 出発～19:50、BC 着

なかなかスケールの大きいバラエティーに富ん
だ尾根である。第二岩峰南尾根を登らずして、本
谷を語る事無かれと思われるほど、北俣本谷の
眺めが素晴らしい。過去の登攀記録も見られず、
ルートファインディングにかかっていたが、無事
トレースできたことは、今後の登攀に意欲を大い
にもたらすだろう。（牧）

5月6日 5:15 出発

新谷、扇能

中岩沢左俣～赤岩尾根⑪～鹿島槍ヶ岳南峰～鎌
尾根分岐⑦～布引沢

中村、村田

ダイレクト尾根⑥

第一岩峰～第二岩峰～第三岩峰～鹿島槍ヶ岳南峰
～鎌尾根分岐⑦～布引沢

出島、牧、小林、内藤、木下

天狗尾根①

三ノ沢大滝～東尾根～南俣のコル～荒沢北俣・
南俣出合～天狗尾根最低コル～小舎岩～荒沢ノ頭
～鹿島槍ヶ岳南峰～鎌尾根～布引沢～BC

5月7日 6:45 出発

新谷、内藤、木下

中岩沢左尾根⑩～赤岩尾根～西沢下降

中村、牧、扇能

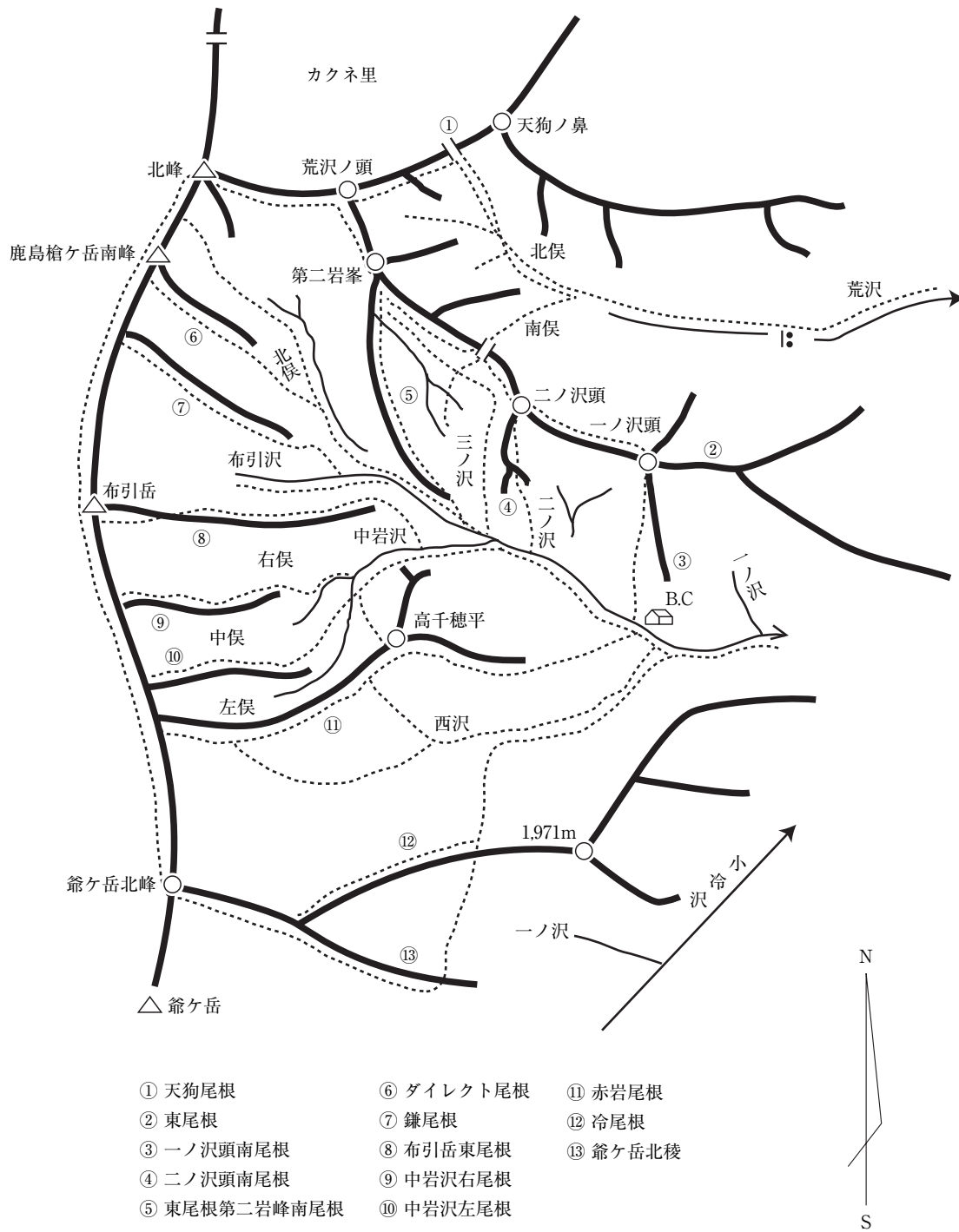
布引岳東尾根⑧～赤岩尾根～西沢下降

出島、村田、小林

中岩沢右尾根⑨～赤岩尾根～西沢下降

5月8日 下山

詳細ルート図、および行動記録は、SACのホー
ムページ「1965年度の鹿島槍ヶ岳強化合宿報告
書」を参照されたい。



鹿島槍ヶ岳周辺図（点線は合宿中のトレース）